



Bank of Japan Fukushima Branch

## 福島県金融経済概況 (2020年2月分※)

### 【概況】

県内景気は、東日本台風等による下押しの影響は和らいでいるものの、一部に弱い動きがみられることから、回復に向けた動きが足踏み状態にある。また、足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。

最終需要の動向をみると、公共投資は、趨勢的には減少しているものの、東日本大震災からの復興へ向けた取り組みが続く中、東日本台風等の復旧関連工事がみられることから、高水準にある。住宅投資は、減少している。個人消費は、緩やかに持ち直しているものの、足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。設備投資は、高水準で推移している。

鉱工業生産は、総じてみれば高水準の生産を維持しているものの、海外経済減速の影響から、自動車関連や産業用機械を中心に引き続き減産の動きがみられる。この間、東日本台風等による下押しの影響は、操業を再開する企業が拡がる中、挽回生産による増産の動きもみられるなど、和らいでいる。

雇用・所得環境は、人員不足感が続いているものの、海外経済減速の影響から、製造業を中心に改善のペースが幾分緩やかになっている。

先行きについては、東日本台風等からの復旧の本格化などが県内景気を押し上げていくとみられる一方、東日本大震災からの復興需要のピークアウトや海外経済減速に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による下押しには、注意していく必要がある。

※ 直近までに入手可能な金融経済統計およびヒアリング情報をもとに、県内の金融経済動向を取り纏め。

### 【前回からの基調の変化】

総括	個人消費	住宅投資	設備投資	公共投資	生産	雇用・所得
➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡

(注)

- ↑ : 前回から改善度合いが強まっている、もしくは悪化度合いが弱まっている。
- ➡ : 前回から変化なし。
- ↓ : 前回から改善度合いが弱まっている、もしくは悪化度合いが強まっている。

### 【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行 福島支店 総務課

TEL:024-521-6353

本資料は、ホームページ (<https://www3.boj.or.jp/fukushima/>) にも掲載しています。

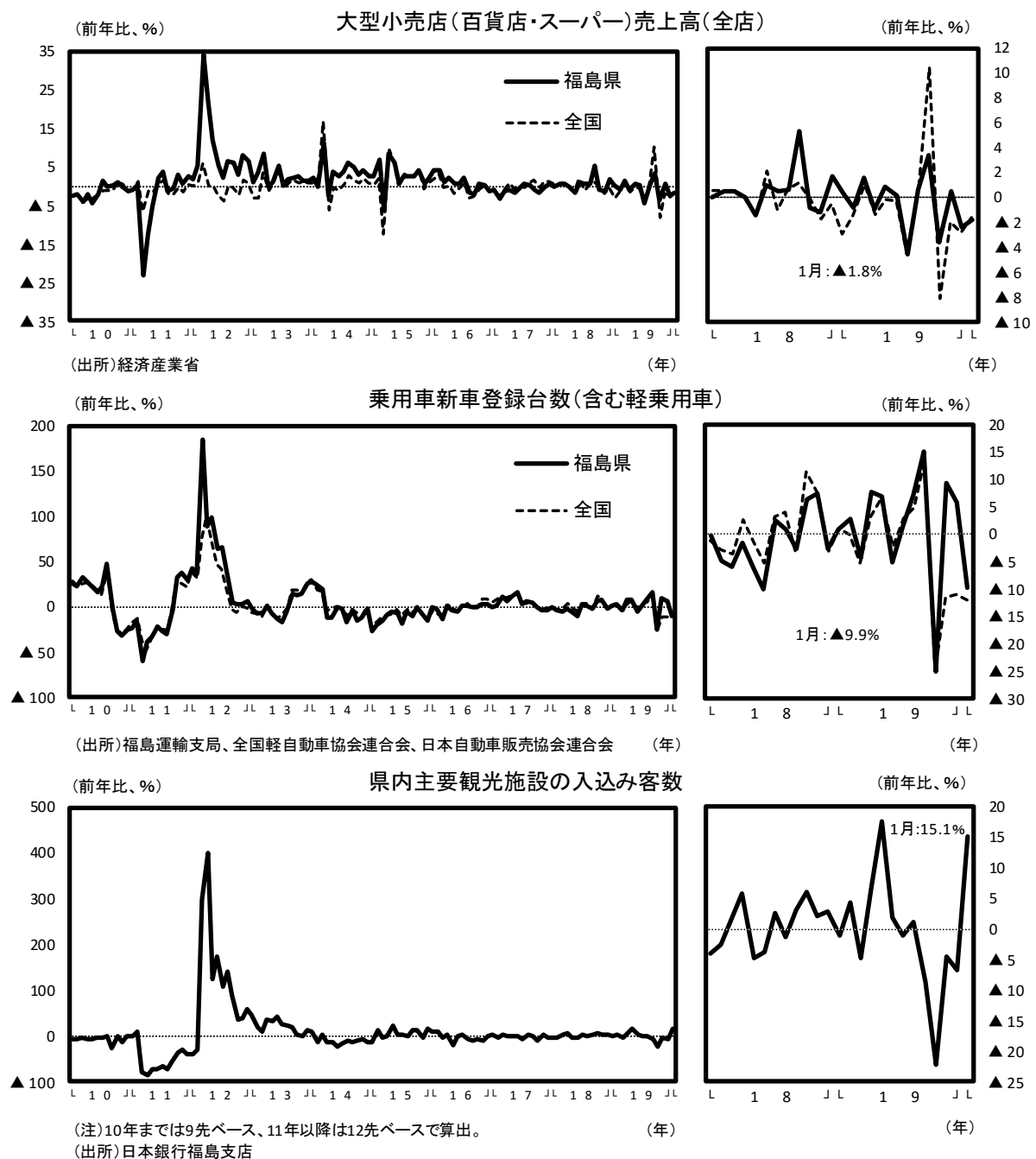
# 1. 需要項目別の動向

## 【個人消費】

個人消費は、緩やかに持ち直しているものの、足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。

主要小売業販売額は、持ち直しの動きが続いている。乗用車新車登録台数（1月）は、前年を下回った。家電大型専門店販売額（1月）は、前年を上回った。

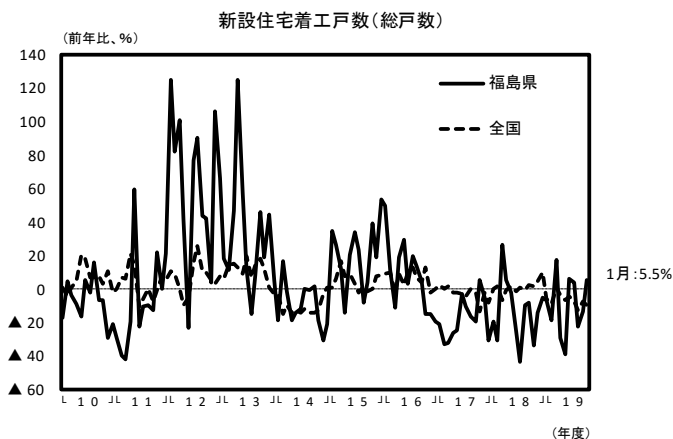
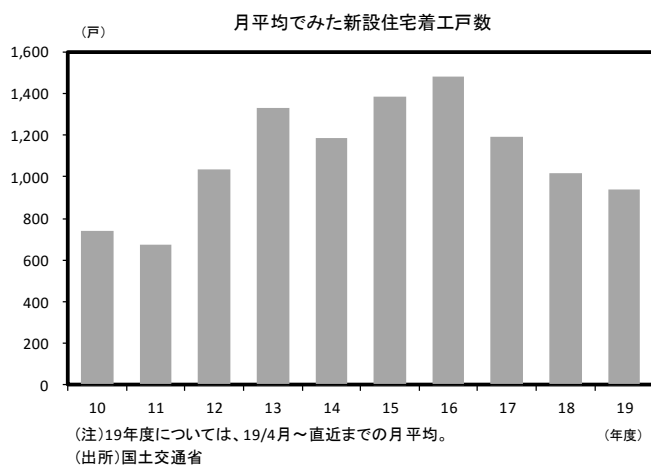
県内主要観光施設や宿泊施設への入込み（1月）は、天候および曜日構成に恵まれたことなどから前年を上回った。もっとも、足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響から減少している。この間、スキー場への入込みは、少雪の影響から前年を大幅に下回っている。



## 【住宅投資】

住宅投資は、減少している。

新設住宅着工戸数（1月）は、持家、貸家、分譲のいずれも前年を上回ったことから、全体でも前年を上回った。

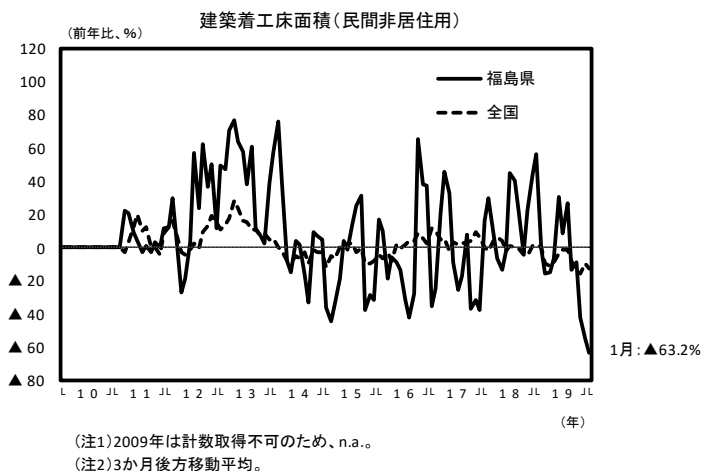
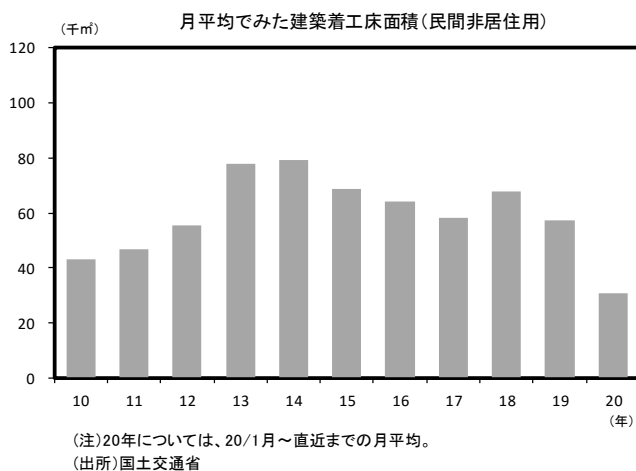


## 【設備投資】

設備投資は、高水準で推移している。

12月短観における県内企業の2019年度設備投資計画をみると、製造業は省力化投資などがみられるものの、海外経済減速の影響から一部に投資を慎重化する動きもあって、前年度を下回っている。非製造業では新規出店投資などから、前年度を上回っている。

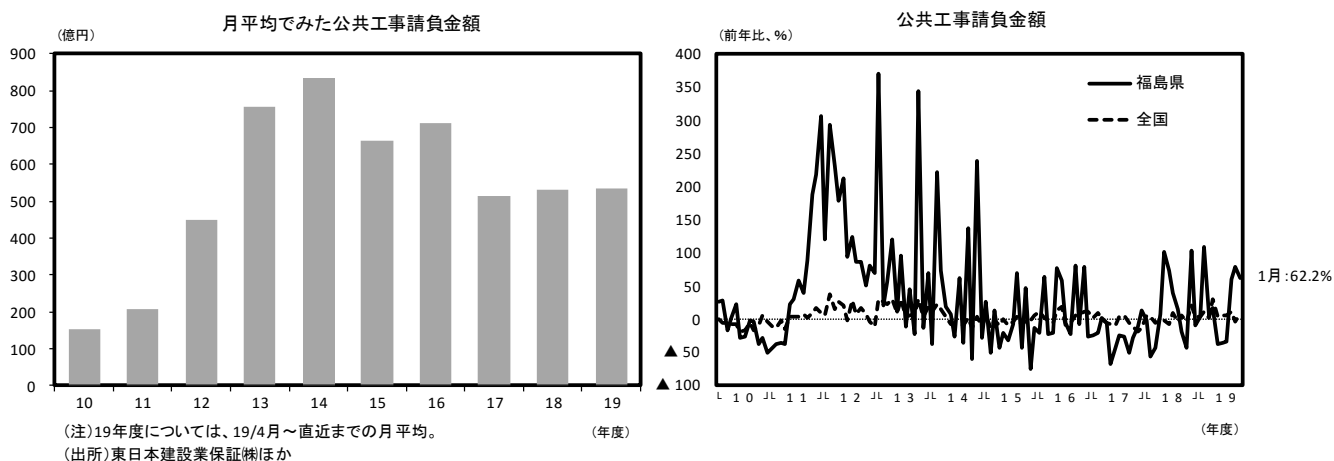
建築着工床面積（民間非居住用）（1月）は、前年を下回った。



## 【公共投資】

公共投資は、趨勢的には減少しているものの、東日本大震災からの復興へ向けた取り組みが続く中、東日本台風等の復旧関連工事がみられることから、高水準にある。

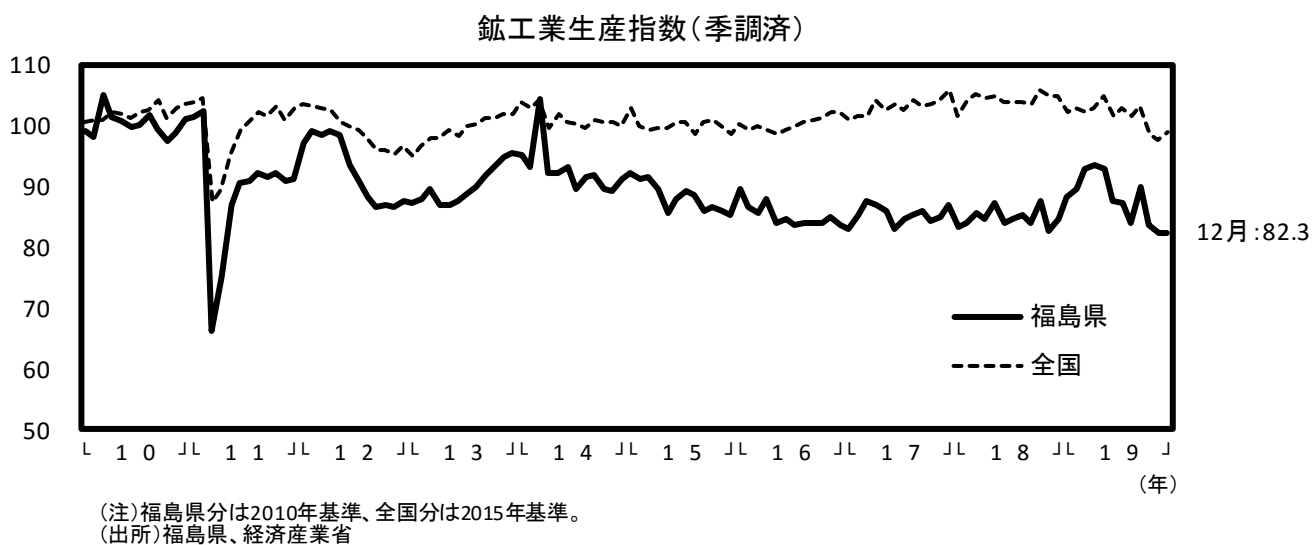
公共工事請負金額（1月）は、前年を上回った。この間、資材価格は、東日本大震災前に比べて高い水準で横ばい状態にある。



## 2. 生産動向

鉱工業生産は、総じてみれば高水準の生産を維持しているものの、海外経済減速の影響から、自動車関連や産業用機械を中心に引き続き減産の動きがみられる。この間、東日本台風等による下押しの影響は、操業を再開する企業が拡がる中、挽回生産による増産の動きもみられるなど、和らいでいる。

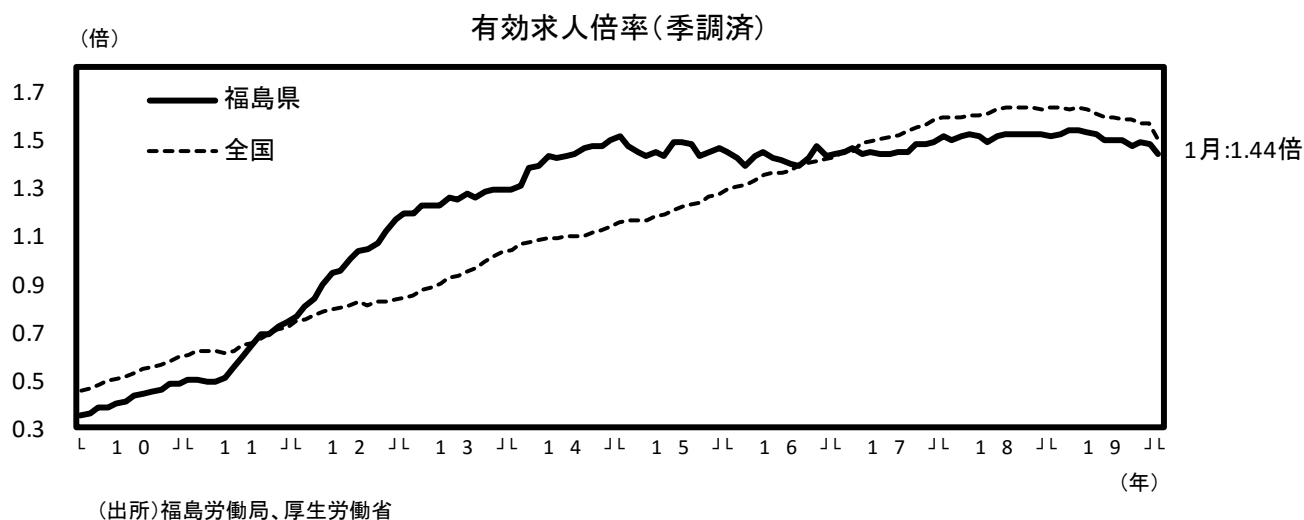
鉱工業生産指数（12月）を主な業種別にみると、化学、輸送機械は上昇した一方、情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイスは低下した。



### 3. 雇用・所得

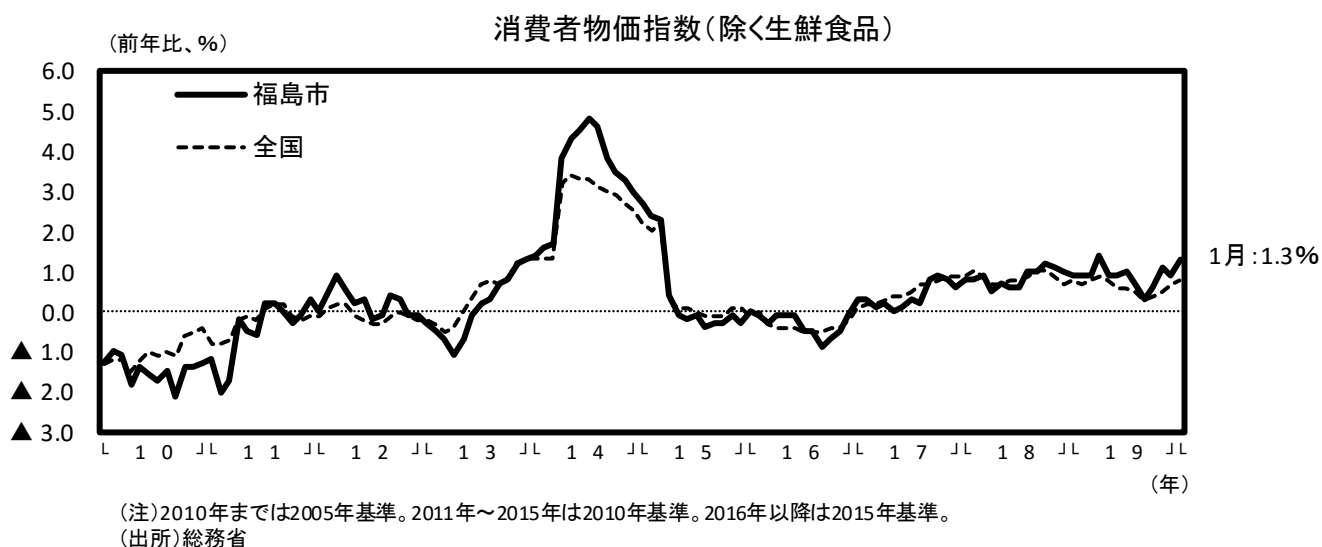
雇用・所得環境は、人員不足感が続いているものの、海外経済減速の影響から、製造業を中心に改善のペースが幾分緩やかになっている。

有効求人倍率は、総じてみれば高水準で推移している。常用労働者数は前年を上回って推移しており、雇用者所得は、緩やかに改善している。



### 4. 物価

消費者物価指数(除く生鮮食品)は、前年を上回って推移している。



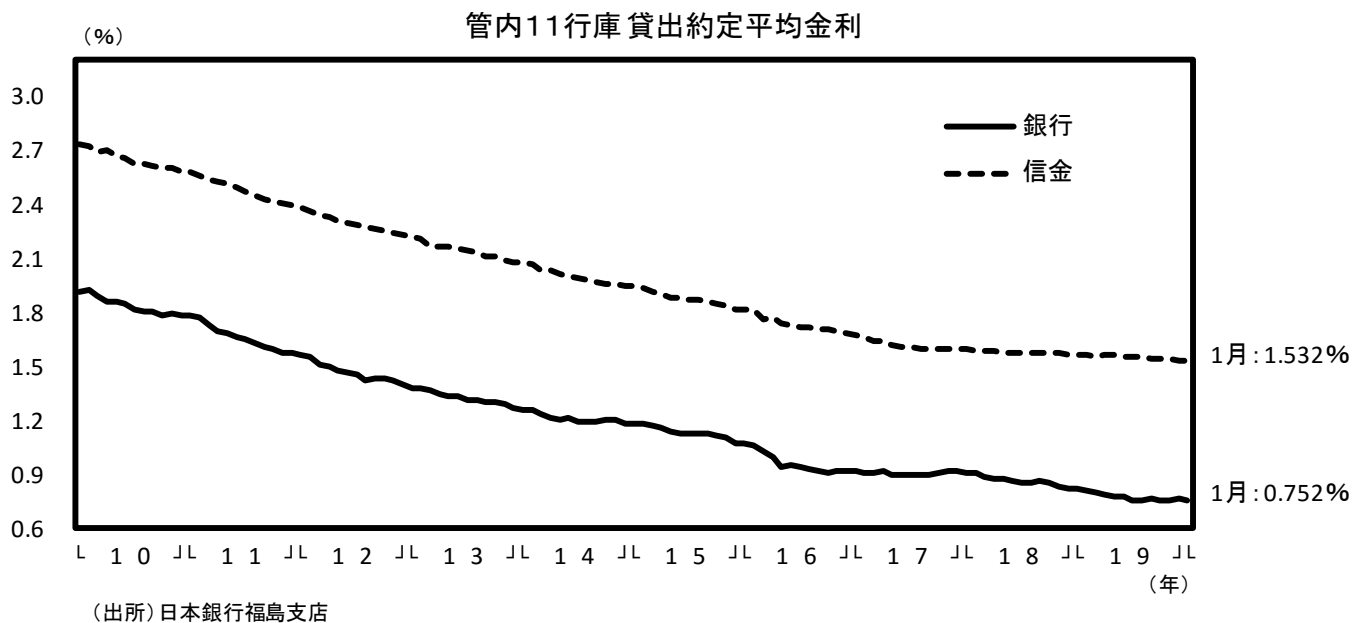
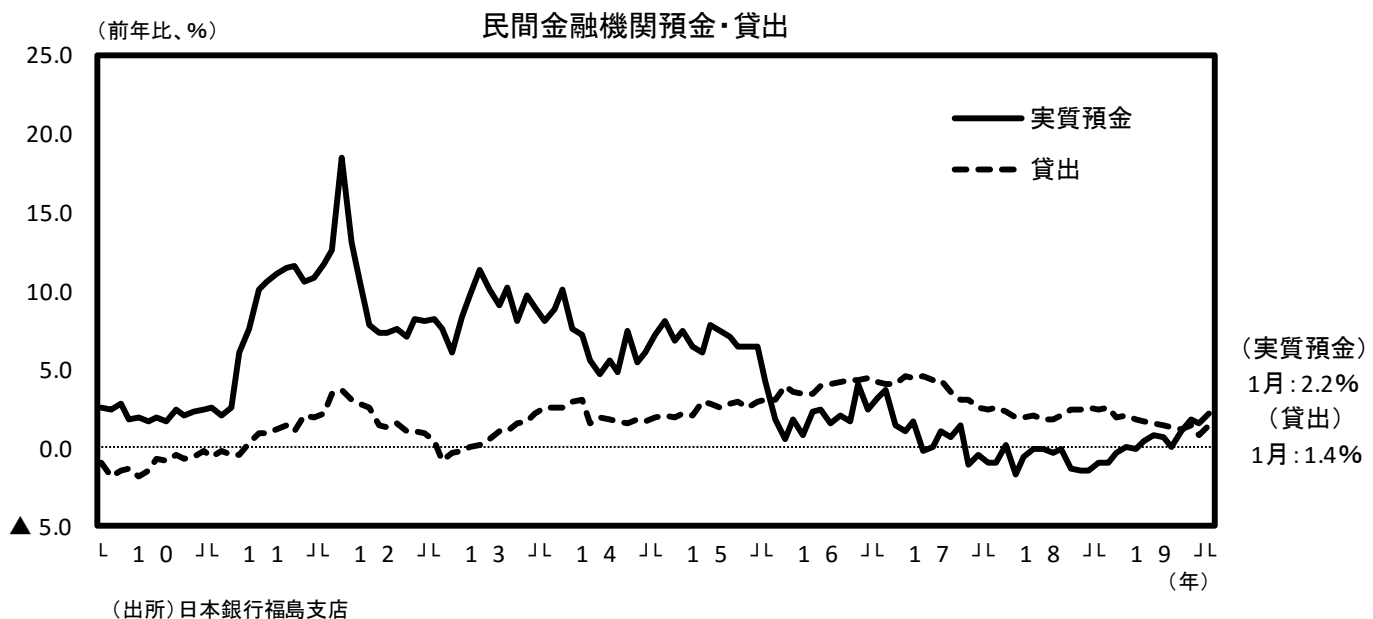
## 5. 金融情勢

実質預金（1月）は、一般預金（個人・法人預金）が前年を上回ったことなどから、全体でも前年を上回った。

貸出は、前年を上回って推移している。

貸出約定平均金利は、既往ボトムの水準で推移している。

企業倒産は、低水準ながら、このところ幾分増加してきている。



以上